

# データベースで人物検索!!

中野区立中央図書館の参考・地域行政資料コーナーでは登録利用者向けに、有料データベースを無料で利用できるサービスを提供している。今回は人物検索をテーマにその利用できるデータベースや、活用方法について紹介をしたい。

## ◎豆知識

↳ who plus の収録内容

- ① who (人物・文献情報)
  - ② 人物レファレンス事典 日本／海外
  - ③ 事典 近代日本の先駆者
  - ④ 海を越えた日本人名事典
  - ⑤ 追悼記事索引1991-2005
  - ⑥ 美術作品レファレンス事典 人物・肖像篇
  - ⑦ 写真レファレンス事典 人物・肖像篇
  - ⑧ 日外選定公式URL集
- ↳ 日経テレコンの収録内容
- ① 1975年以降の日経4紙 (経済・産業・金融・流通) の新聞記事
  - ② 企業情報(日経会社プロフィール)・人事情報(日経WHO, S WHO) など

## 1 便利なデータベース

データベースでは、その膨大な検索対象から検索の仕方やキーワードを工夫することで、その時その時の新しい人物事典が誕生する。というのも、データベースは、本と異なり収録人数という制限がなく、修正・追加のために版を重ねる必要もないため、毎日、或いは新情報を得るに依りて適宜、更新することができる。例えば、今回紹介する二つのデータベースは、どちらも30万人以上収録している。紙の人物事典では多くて一冊8万人前後であり、情報量は項目に合わせて削る必要があるが、データベースではその心配もなく各項目を可能な限り充実できる。その膨大な収録数と常に更新される性質から、キーワードを変える度に異なる人物が登場し、同じキーワードでも更新により新しい人物が加わり、最新の情報が加味される。様々な条件で検索することによって、中野区立図書館が建った日に生まれた人を調べたり、19世紀に生まれた首相リストや、今話題の企業の役員リストを作ったりと多様な活用ができる。加えて、当図書館の提供するオンラインデータベースサービスでは、調べた結果を著作権の範囲内で印刷<sup>※2</sup>できる。

## 2 who plus 延べ60万人収録した人名事典

who plusとは、日外アソシエーツ社が提供するオンラインデータベースである。延べ60万人を収録し、独自の人物情報事典「who」と日外アソシエーツ社が出版した人物事典・索引を検索できる。特に「who」は単独で、歴史上の人物から現役で活動中の人まで約32万人分の項目を検索できる。使い方は二通り。一つは収録している資料全てを横断検索する方法、もう一つはデータベース独自の「who」のみを検索する方法となる。横断検索では、人名やキーワードからの検索のみだが、「who」では肩書きや生没年などを色々指定して精度の高い検索ができる。そのため、横断検索では60万人分の項目を一括で検索でき、「who」ではキーワードに加えて何らかのテーマに基づいた調べ方ができるなど、各々で利点がある。

また、日外アソシエーツ社は書籍、雑誌情報を扱うデータベースを別途提供しており、それらと連携した機能として、調べた人物の著作物や関連書籍一覧、取り上げられた新聞、雑誌記事などをwho plus上で見ることができ。日本経済新聞社の提供する会員制ビジネスデータベース「日経テレコン21」(通称:日経テレコン)では新聞の記事検索以外にも、ユニークな検索機能を持つている。その一つとして、人事情報データベース「日経WHO, S WHO」では、全国2万社の上場及び有力非上場企業と、政・財・官界、計30万人のキーパーソン情報が集められている。業種、過去の経歴・肩書き、出身校、生没年といった項目で情報整理され、紙面上では略称で掲載される部署名や役職名も省略されず、正式な名称が確認できる。

## 3 日経テレコン21でビジネスパーソンを一発検索!

経済紙のデータベースとして新聞記事や企業情報の検索も可能であるため、各サービス間が連携しているという特徴がある。人事検索では、昇格や社長就任などに関連する記事があれば、その記事へのリンクが設けられ、すぐに記事を参照できる。また企業検索では、役員一覧の中に「日経WHO, S WHO」に掲載されている人がいれば、各人事情報へすぐに移動できる。

## 4 できることの多い図書館

現在、私たちの周りにはインターネットを介して、様々なデータベースが利用できるようになってきている。図書館では今回紹介した有料データベースに限らず、ウェブ上で公開されているデータベースも日々活用して、本だけではなくインターネット情報も利用したレファレンス(調べもの案内)を行なっている。もし今回の記事で興味を惹かれたら、参考・地域行政資料コーナーに足を運んでみてはいかがでしょうか。



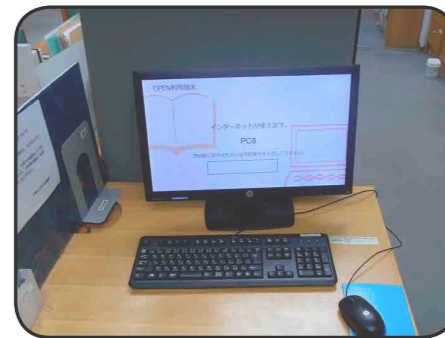
～参考サイト～  
 「nichigai web service (who plus)」  
<http://www.nichigai.co.jp/database/who-plus.html>  
 「日経テレコン21」  
<http://telecom.nikkei.co.jp/>  
 「中野区立図書館  
 オンラインデータベース・CD-ROM」  
<https://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosh/reference/RefTool.html>



▲日経テレコン21のトップページ



▲who plusのトップページ



▲中央図書館の参考・地域行政資料コーナーにあるオープン端末でデータベースが利用できる。